



清流

●学校教育目標

夢をもち、心ゆたかに たくましく
学びに向かい 未来を拓く子どもの育成

●めざす児童像

・進んで学び、やりぬく子 ・仲よく助け合う子 ・強く、たくましい子
精華町立山田荘小学校学校だより 3月号 令和6年2月29日

学校HP



感謝の気持ちを伝えた！

校長 竹花 真治



2月22日（木）6年生を送る会が行われました。

当日に向けて、5年生が中心に、下級生全員で役割を分担してこの日を迎えました。間もなく最高学年になる5年生は、準備にそして当日の進行に、大活躍。各学年からの発表も、送る会の一番の目的である「6年生ありがとう」の気持ちをしっかり伝えることができました。それを受けた6年生の発表もすばらしかったです。3年振りに行われた送る会での全校合唱、全校の心が一つになる素敵な歌声が体育館に響きました。子ども達の「心」を感じる、温かな会になったと思っています。多くの方々に参観に来ていただき、ありがとうございました。



その直後の3時間目、6年生は

本校のサポーターの皆様を招待し、テーブルごとにおもてなし「感謝の会」を行いました。日頃支えていただいている皆様にお茶を淹れ、お菓子でおもてなしました。各テーブルでは、日頃の様子を語り合いながら、感謝を伝えました。サポーターの皆様からは、「送る会、素晴らしい発表でした」との感想もいただき、子ども達は喜んでいました。サポーターの皆様、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。

テーブルごとにおもてなし

明日からいよいよ3月。どの学年も進級に向けて、学習・生活面をしっかりとまとめ、次に繋いでいけるよう、子ども達の気持ちを、高めていきたい思います。

ある授業から…「命」について考えた1時間

2月27日、6年生は、助産師の小西先生の授業を受けました。小西先生には、ここ数年、毎年来ていただき、6年生の子ども達に、命の誕生から赤ちゃんが生まれるまでの話や、生まれた時の家族の喜びなど、「命の大切さ」をテーマに授業をしていただいています。授業の最後には、いつも語っていかれる言葉があります。それは「**生きてるだけで100点満点**」という言葉です。そこに「命」があるだけで、周りが喜びとなる…、先生の熱い言葉に、いつも感銘を受けています。それと同時に、「生 ⇄ 死」に関わって、子ども達には、常に「命」を大切にすることを認識させなければ…、と考えさせられます。

悲しくもこの1月、大きな地震により、能登半島を中心に多くの方が被災され、250人も超える方々が突然命を失われました。また、世の中には、他人の命が身勝手な理由で、簡単に奪われる事件が、連日報道されています。火災や交通事故等、思わぬ状況で死を迎えることも…。（世界に目を向ければ戦争も死はいつ来るか、だれもがわからないものですが、一つ違う死の迎え方があります。それは「自殺」です。

先月、令和5年の日本における自殺者の総数の報道（警察庁の自殺統計（暫定値）に基づく厚生労働省のまとめ）がありました。前年より若干減少とはいえ、ここ数年約2万人を超える方が、自らの命を絶っています。また、小・中・高生の自殺は数年前までは300人台で推移していましたが、昨年、一昨年と全国で500名を超えています。昨年の小学生の自殺数は13人と、驚異的に感じます。

人生は、楽しさもあり、また逆に多くの苦しみや悲しみ、そして苦悩にぶつかり、その困難を乗り越えながら生きていかねばなりません。その、困難を乗り越えることで、それまで以上の逞しさや優しさを身に付け、喜びや希望のある人生を築きあげていくことができるものと思っています。困難を乗り越えるためには幾つかの方策があるでしょう。（健康問題には解決できないこともあるかもしれません）自らが命を絶つことは、避けるべき選択肢と考えます。なぜならば『自殺』という死は、多くの人に悲しみを残すだけでなく、身近な人々の心に深い傷を付けることとなります。自分の命は自分のものであると同時に、多くの人に支えられた掛け替えのないものだからです。（自殺でお亡くなりになられた方、ご家族、関係者の皆様の心情は、察するに余りあります）

ゲーム全盛期の現代、子ども達の中に「死んだらまた何処かで生まれ変わる」という概念をもっている子どもがいるとの報道に、驚いたことがあります。ゲームの中に出てくる人物（キャラクター）のように、命にリセットボタンはありません。『命の終わりは死であり、その命は二度と蘇らないこと』『人の命は他の動物など多くの命を犠牲にして支えられていること』『人の命の長さは自らの意思では決められ

ないこと』『命の長さだけで人の幸せは決まらないこと』など…、命に関わって考えるべき大切な内容がたくさんあるにもかかわらず、私たち大人は子どもたちにあまり深く語っていない気がします。この世に生を受けた者で、死と無縁の人は誰もいません。命には限りがあることをしっかりと認識して、今という時間を大切にしながら、『よりよい生き方をする』ことについて考える事は、とても大切なことです。

私が小学校の時、初めて家に子犬がもらわれてきて、「まーちゃん」と言う名前をつけました。とても可愛い子犬で、私が家に居る時は、いつも側にまーちゃんがいました。数年が経ち、まーちゃんは歳をとり、自宅で死にました。いわゆる老衰でした。雑種で10年は長生きかどうかわかりませんが、ある日学校から帰ると、玄関で「まーちゃん」が横たわっていました。抱き上げると、いつものような温かさは全くなく、死後の硬直で4本の足を突き出し、首も足も力子力子になって動かなくなっていました。その時の冷たさと重たさに、味わったことのない深い切なさを感じました。



私には「まーちゃん」の死が、亡くなった命は二度と蘇らない事を真に悟り、深い悲しみを覚えた最初の経験だったかもしれません。私が41歳の時には父が亡くなりました。父の最後は病院で、息を引き取る瞬間まで、ベッドの周りで家族全員が看取りました。父の手を握りしめながら、最後の瞬間、指の先から徐々に冷たくなっていき、家族を見つめ、そっと目を閉じていく父の姿は、今だに忘れられません。その4年後に亡くなった母も、病院で息をひきとりましたが、朝病院から連絡があり、急いで駆け付けましたがもう冷たくなっていました。最後の瞬間に立ち会えなかった無念の思いは今でもあります。

家族の死を目の当たりにする事だけが、命について認識する機会だとは思いますが、身近な人の死や、かわいがっていたペットの死をとおして、「命に限りがある」「亡くなった命は二度と蘇らない」ということを、子どもたちには強く認識させたいものです。学校で、そのような場面はありませんが、様々な学習の機会を通して、自分の命はもとより、全ての命の尊厳を感性として身に付け、生ある今を感謝しながら自分の人生を大事に生きていける子、言い換えれば、常に人権を尊重できる子ども達を、育まなければならないと思います。そして、そのことを教える、私達教職員が、改めて「子ども一人一人」を、「命」を大切にすることを持ちながら、日々、子ども達の支援にあたっていかなければ…、と考えさせられた1時間の授業でした。

明日も、元気いっぱい、命いっぱい子ども達は登校してくれるでしょう。笑顔で送り出していた子ども達を、教職員一同笑顔で待ち、100点満点の元気な挨拶を交わしたいと思います。



授業の中で、赤ちゃん人形を、優しく抱っこする6年生

3月行事予定



月	火	水	木	金
				1 ふれあい班お別れ会 (2時間目) こすもす学級図書館見学
4	5 児童朝会	6 地域児童会(5時間目) PTA引継ぎ19:00~	7 2年授業参観(5時間目)	8 6年PTA学年親睦会 (5・6時間目)
11 短縮5校時	12 短縮5校時 こすもす個人懇談会	13 登校指導・安全点検 (地域委員新旧引継ぎ) こすもす個人懇談会	14 短縮5校時(1年短縮4校時) こすもす個人懇談会	15 短縮5校時 給食終了 こすもす個人懇談会
18 短縮3校時(1~4年・6年) 短縮4校時(5年) *卒業式準備	19 短縮3校時 卒業証書授与式 (4, 5, 6年) 1, 2, 3年休み	20 春分の日	21 短縮4校時	22 短縮3校時 修了式 大掃除

お知らせ・お願い

《卒業証書授与式について》

3月19日(火)に卒業証書授与式が行われます。今年度は、4, 5年生が在校生を代表して出席し、6年生の旅立ちを見送ります。

《新しい登校班での登校について》

3/6(水) 地域児童会…登校班ごとに集まり、新しい登校班の班長、並び等を確認。

3/7(木)~新班長が先頭に立ち、6年生が一番後ろに並び、下級生を見守る。

3/19(火) 4, 5, 6年のみで登校

*6年生で登校班で登校しない場合は、班員に連絡して下さい。

3/21(木)~新しい班編成で登校する。

*新しい登校班、集合時刻等については、各地域委員さんから各ご家庭にお知らせがあります。



感動があふれた6年生を送る会

2月22日(木)に6年生を送る会がありました。数年ぶりに全校が一斉に集まり、保護者の方にも入場制限を設けず、来ていただき、下級生たちが、6年生への感謝の思いを様々な出し物に込めて発表しました。6年生も最高学年にふさわしい合奏と合唱でお返しをしました。最後に全校で「笑顔の花が咲くように」を合唱し、全校の素晴らしい歌声が体育館中に響き渡り、子どもたちにとって感動が溢れるよい時間を6年生と過ごすことができました。



6年生は入場時に自分の夢について語り、これから頑張りたいことをスピーチしました。



在校生からの発表は、合唱、合奏、ダンスとそれぞれの学年らしさが出ており、どの学年も6年生への思いが伝わる素晴らしい発表でした。



6年生は、合奏と合唱の2曲を発表してくれました。呼びかけの声も一人一人が力強く、6年生の思いが伝わりました。



5年生は、歌指導、会場準備、進行、片付け等、しっかりと役割を果たしてくれました。